

頭を守る確かなヘルメットに、
優れた衝撃吸収性能は絶対の要件です。

事実、アライの長い歴史はこれを高めてきた努力の軌跡でもあります。この努力、これからも続ける所存です。
一方、バイクに乗るライダーは、規格による試験の衝突時より速い速度で走るのも事実です。運動エネルギーは速度の二乗に比例して大きくなるから、レース場のみならず公道でも、ヘルメットを被るライダーの頭はとてつもなく大きなエネルギーを抱えているのです。それをまともに受けたら、どんなヘルメットだって能力の限界を超えてしまいます。

でも、大きなエネルギーの対処にも逃げ道はあります。障害物に当たったとき、その表面を滑って『かわす』ことができれば衝撃のエネルギーは分散し、ヘルメットが吸収しなければならぬ分は劇的に小さくもなります。

現実の場面では、“衝撃をかわす性能”も
“衝撃を吸収する性能”に並ぶ大切な要素です。

万一の際、まっ先に働く“衝撃をかわす性能”には“丸く、滑らかで、強い帽体”がより有効であること、アライは長い歴史の中で学びました。公の規格がどうあれ、自らもバイク乗りで自分自身の安全も考えるアライは、この事実を決して忘れません。

——— 衝撃は、できる限り『かわす』。

そして、かわし切れなかった分は『吸収』する。

ヘルメットが頭を守る上での基本はこれ、とアライは考えます。だから、アライのすべてのモデルは“衝撃をかわす性能”を考え、規格による頭部保護の範囲において、丸い滑らかな75R以上の球面の連続したフォルム※、そして強固なシェルを固守します。

『R75』、アライが提唱する大切な安全へのこだわりです。

※ 曲率半径75mm以上の連続した凸曲面



Rounder, Smoother & Stronger Shell
R75
SHAPE